

27 ミノ又谷大崩壊地における治山事業

福井県（大野市）



荒廃状況（昭和38年頃）



施工状況（昭和54年頃）

○所在場所

福井県大野市上打波

○施設・工法の概要

堰堤工51基、山腹工13箇所

○解説

昭和18年5月に九頭竜川上流のミノ又谷最奥部で14haにおよぶ大崩壊が発生し、崩壊土砂は山津波となり、打波川に押し出し、家屋・農耕地などに多大な被害を与えました。

当該地区は高標高に位置し、脆弱な地質構造と急峻な地形など厳しい環境条件下にあり、度重なる災害に対して地元住民の強い要望に応え、昭和24年から民有林直轄治山事業として復旧治山事業が実施されました。現在では大崩壊地にも緑がよみがえり下流域を保全しています。



現在の状況